

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公開番号】特開 2005-295039 (P2005-295039A)

【公開日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【年通号数】公開・登録公報 2005-041

【出願番号】特願 2004-104682 (P2004-104682)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/92 Z

G 1 1 B 20/10 3 1 1

H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 31 日 (2006.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

映像データを入力するデータ入力部と、
前記入力された映像データを入力後にコード変換するか否かを判断する判断部と、
映像データを記憶する記憶部と、
前記判断部が、前記入力された映像データのコード変換を入力後に行わないと判断したときに、前記入力された映像データを前記記憶部に記憶させる手段と、
前記記憶部に記憶された映像データをコード変換するコード変換部と、
を具備することを特徴とする録画装置。

【請求項 2】

前記判断部が、中央演算処理装置の使用状況に基づいて、前記映像データを入力後にコード変換するか否かを判断することを特徴とする請求項 1 記載の録画装置。

【請求項 3】

前記判断部が、前記入力された映像データのコード形式および変換予定のコード形式に基づいて、コード変換を行うか否かを判断することを特徴とする請求項 1 記載の録画装置。

【請求項 4】

前記録画装置が、前記データ入力部から入力された映像データをコード変換するか否かを判定する判定部、を更に具備し、

前記判定部が前記入力された映像データをコード変換すると判定した場合に、前記判断部が前記入力された映像データのコード変換を入力後にコード変換するか否かを判断することを特徴とする請求項 1 記載の録画装置。

【請求項 5】

前記録画装置が、コード変換のタイミングを表すテーブルをさらに具備し、
前記テーブルに表されたタイミングに基づいて、前記コード変換部でのコード変換が開始される

ことを特徴とする請求項 1 記載の録画装置。

【請求項 6】

前記記憶部に記憶された映像データの再生指示が入力される指示入力部と、
前記コード変換部でコード変換中の映像データを前記再生部で再生する指示が入力されたときに、コード変換と再生のいずれを優先するかを選択を促す画面を表示する表示部と、
をさらに具備することを特徴とする請求項 1 記載の録画装置。

【請求項 7】

映像データを入力するデータ入力ステップと、
前記入力された映像データを入力後にコード変換するか否かを判断する判断ステップと、
前記判断ステップで、前記入力された映像データのコード変換を入力後には行わないと判断されたときに、前記入力された映像データを記憶する記憶ステップと、
前記記憶ステップで記憶された映像データをコード変換するコード変換ステップと、
を具備することを特徴とする録画方法。